

北 翔



2014 新年号

一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

も く じ

ごあいさつ 北海道知事	高橋はるみ	1
札幌市長	上田 文雄	2
(公社)全国ビルメンテナンス協会 会長	一戸 隆男	3
(一社)北海道ビルメンテナンス協会 会長	山田 春雄	4
表 彰		5
東北・北海道ビルメンテナンス協議会 in とかち		6
第51回優良従業員表彰式		7
平成25年度労働安全衛生大会		9
平成25年度労働災害防止論文 入選作品		16
平成25年度労働災害防止標語 入選作品		25
各地区協議会トピックス		27
ビルメンひろば		32
編集後記		35
広 告		36

表 | 紙 | 解 | 説 ビルメンテナンス会館

会館の所在地は札幌市中央区北3条西17丁目2番3号。地下鉄東西線西18丁目駅から徒歩8分程度。付近には知事公館や道立近代美術館があり大変環境の良い場所に位置しています。建物規模は地下1階、地上3階建。1階は事務所スペース、2階は大小会議室が各1室。地下1階と3階は研修室となっています。地下1階は最大収容人員159名(3人掛け)で主な設備は大型スクリーン(120インチ)、固定式高輝度液晶プロジェクター、DVDプレーヤー一体型ビデオ等。3階は最大収容人員160名(2人掛け)で、大型スクリーン(80インチ)、固定式高輝度液晶プロジェクター、DVDプレーヤー一体型ビデオ等が設置されています。また、それぞれの研修室の様様を他の階の研修室で見ることができ、ここで開催されるビルクリーニング技能競技会は、3階で競技を行い、地下1階で観戦、応援ができます。このように設備の充実した会館は、各種会議、研修等に大いに活用されております。



年 頭 所 感

北海道知事

高 橋 はるみ

新年明けましておめでとうございます。皆様には、平素から道政各般にわたり深いご理解と温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、我が国では、震災からの復興はもとより、急速に変化する国際社会への対応や持続的な経済成長の実現などが求められる中、経済の再生に向けて様々な政策が打ち出され、景気が穏やかな回復を見せるとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定されるなど、明るい話題があった一方で、局地的な豪雨や大型台風などが日本各地で猛威をふるい、また、消費者の信頼を損なう食品の不適切表示などが問題となった一年でもありました。

本道においても、暴風雪によってかけがえない人命が奪われるなど、自然災害が道民の皆様の安全・安心を揺るがすとともに、暮らしや地域経済を支えているJR北海道の運行管理に重大な課題が明らかとなりました。

こうした中、道内では北海道独自の食品機能性表示制度がスタートし、北海道米に続く道産小麦などの食のブランド化に向けた取組が拡大するとともに、アジアを中心に海外から多くの観光客が本道を訪れ、また、災害リスクの低い本道に道外からの本社機能・生産拠点などの移転が進んでいるほか、バイオマスなどによるエネルギーの地産地消に向けた取組が広がりを見せ、さらには、アイヌ文化の振興に向けた「民族共生の象徴となる空間」が具体化するなど、道民の皆様とともに描き、共有してきた夢の実現に向けて、確かな手応えが得られた一年であっ

たと感じています。

私は、先人から受け継いできた、豊かな食、美しい自然、世界に誇る環境・文化といった「北海道価値」を一層発揮させ、本道の未来への展望を切り拓いていくことを目指して取り組んでいます。

このため、本年においては、食や観光をはじめとする産業群の創造など「経済の活性化」、本道の自然環境を活かす「環境先進地づくり」、人口減少・高齢化を見据えた「安心社会づくり」に向けて、地域の皆様と手を携え、地域にこだわった道政を展開していくとともに、自らの夢に向かって果敢に挑戦する未来を担う人づくりを積極的に進めます。

また、本道の基幹産業である農林水産業を発展させ、次世代に継承していくことができるよう、TPP問題への対応にもしっかりと取り組みます。

北海道新幹線の開業まで二年余りとなり、本道にとって新時代の幕開けがいよいよ近づいてきました。私としては、本年が北海道の新たな発展にとって重要な一年になると確信しており、経済が活気を取り戻し、誰もが安心していきいきと暮らすことのできる北海道を目指し全力を尽くす決意です。皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、輝かしい未来に向けて歩みを進める年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年頭あいさつ

札幌市長

上田文雄

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

私が市長に就任してから十年が経過し、この間、私は一貫して「市民自治が息づくまちづくり」に取り組んでまいりました。その結果、ごみの大幅な減量や節電による電力危機の回避などを成し遂げることができたのは、まさに「市民力」の賜物にほかなりません。皆さんのその意欲と行動力に、心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

これからの札幌は、人口減少や超高齢社会の到来といった、時代の大きな転換期を迎えます。こうした状況においても、まちの輝きを未来に引き継いでいくために、今後十年間のまちづくりの指針である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」を策定しました。このビジョンでは、目指すべき都市像と、今後重点的に進めるテーマを定めております。今年は、皆さんと共に、このテーマに沿った施策を力強く進めてまいります。

さらに、私は、人々の創造的な活動や発想が、まちの魅力向上や地域経済を牽引する源になると考え「創造都市さっぽろ」の取り組みを進めております。そして昨年末、札幌市のこれまでの取り組みが評価され、「ユネスコ創造都市ネットワーク」への加盟が認められました。世界的なネットワークの一員となったことは、札幌の都市ブランドを確立する

上でも、計り知れない効果をもたらすものと期待しています。また、創造都市さっぽろの象徴的な事業として、今年、「札幌国際芸術祭」を初開催します。都市と自然をテーマとした、新しい形の芸術祭を目指しております。

経済の活性化については、札幌・北海道の強みを生かし、道産食材の加工による付加価値の向上と、それを広く発信する取り組みを支援しながら、海外への販路拡大に力を注いでまいります。また、道内市町村との連携を深めることも極めて重要であると考えており、各市町村に札幌の都市機能を積極的に活用していただきながら、道都として、北海道全体の発展を目指す役割を担ってまいります。さらに、一昨年に決定した北海道新幹線につきましても、引き続き早期開業に向けた努力を続けてまいります。

かつて、開拓使判官として札幌のまちづくりに着手した島義勇は「五州第一の都（世界一の都）をつくる」という壮大な志を抱きました。新たな時代を迎えるにあたり、先人のこの志を思い起こし、世界が憧れるまち札幌となるよう、皆で考え、知恵を出し合い、行動していくという市民自治をさらに進めてまいります。

どうか本年も、市民の皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。



年 頭 所 感

公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会

会 長 一 戸 隆 男

あけましておめでとうございます。

昨年は、ビルメンヒューマンフェア'13に2万人を超える来場者を、さいたまスーパーアリーナにお迎えすることができました。

会員各位はじめ多数の皆様方のご理解、ご協力を深く感謝を申し上げます。

今回のフェアでは、業界内の関心だけを対象とせず、ユーザー（顧客）と、ビル利用者（エンド・ユーザー）にまで視野を広げ、ビルの運用・管理に関連するステークホルダー全体を対象とした企画を検討して参りました。特に、官公庁施設の保全担当者、契約担当者を対象とした「保全業務マネージメントセミナー」は、国土交通省の支援も得たいへん多くの受講者にお集まりいただきました。なお、本セミナーは広島、福岡、岐阜でも開催し、発注要件書、仕様書・見積りの作成、そして検査・評価の方法など、建築物保全業務の発注に関するポイントを解説させていただきました。このように、ビルメンテナンス業務への発注者のご理解、ご関心をいただくことが第一であり、直接の働きかけを企画したわけですが、今後も、ユーザー指向の事業を強化し、会員各位の事業をやりやすくしていくことが極めて重要になってくるだろうと思っております。

もう一つ、フェアのセミナーで多くの関心を集めた企画は、人材育成の企画でした。昨年度厚生労働省の委託事業の一環として取り組まれた「ビルメンテナンス業における職業能力評価」の成果を土台に、人材育成の手法、職業能力評価の導入、求人募集への適用など、業界にとっては根幹とも言える雇用・人事の課題を対象としたものでありました。昨年の実態調査でも如

実に現れておりましたが、今後、景気が良くなっていくとしても、雇用が隘路となって、利益確保が困難になる場面も考えられます。また、品質競争は人材競争でもあります。人材を育成し、採用する企業の器を如何に整えるか、切迫した課題ということが出来ます。全国協会は、雇用面に関する施策も、関係方面に働きかけながら種々の專業 展開を可能にする課題であると考えております。

最後にもう一つ重要なことは、協会が顧客に、そしてエンドユーザーに、どのようなイメージを持たれているかということであります。ビルメンテナンスが仕事や暮らしに密着したところで、欠かせないサービスであるという認識を定着させ、それだけにあだやおろそかにはできない、良質なサービスを受受したいと強く思ってもらうこと、協会はその良質なサービスの基準・標準を提供している機関であるとの認識を定着させていくことが、極めて重要な問題になるだろうと思っております。このような協会を築いて初めて、会員が会員であることの価値を創り上げていくのであらうと感じております。全国協会はあと3年で50周年を迎え、その年に世界ビルサービス連盟の世界ビルメンテナンス大会を主催することとなり、社会に様々な情報を発信する機会に恵まれることとなります。社会に発信する価値ある情報・事業と発進力を、私たちは蓄えていかなければならないと考えています。全国一丸となって取り組んで参りたいと存じますので、よろしくご理解、ご協力のほどお願い申し上げます、皆様方の新しい年が良い年になるようにお祈りして、新年のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会

会長 山田 春雄

新年明けましておめでとうございます。

平成26年の輝かしい幕開けに、謹んでお慶びを申し上げます。

さて、北海道協会は、札幌市が提案していた「公契約条例」に対して、札幌商工会議所、札幌建設業協会、北海道警備業協会などと密接な連携を図り、市議会自民党、公明党、みんなの党などに反対の要請を行うとともに、記者会見・取材など報道機関に当協会の考え方を積極的に伝え、また、道ビルメン政治連盟としても全政連の支援をいただき国会議員に働きかけるなどして条例制定反対の活動を精力的に行った結果、昨年11月1日に市議会において、1票差で否決・廃案に持ち込むことができました。

札幌市から条例制定の考え方の説明があつてから2年余りに亘るまさに厳しい戦いでありましたが、この間、会員のゆるぎない結束と、多くの方々にご支援、ご協力をいただきましたことに深く感謝を申し上げます。

また、今後、全国の地方自治体で同様の提案がされることが予想されますが、道協会のこの度の活動による否決は、全国で初めてのケースでもありますことから、都府県ビルメン協会の参考の一助になればと考えております。

道協会としては、条例の趣旨であります、賃金引上げを含む労働環境の改善には同感であり、反対はしていませんが、提案当初から一貫して関係団体と連携して反対してきた理由は、

① 同一労働・同一賃金の原則を破ることです。

札幌市内で働く清掃従業員は、約16,000人で、その内、札幌市の委託業務の対象者は500人（3%）程度で、残りの97%には企業が努力して賃金を上げなさいとの趣旨ですので、我々企

業には、デフレ経済、低入札価格などの影響でその体力がないことです。

② 何故、清掃、設備、警備、建設を対象業種としたのか、明快な説明がないことです。

市の選定理由は、先進事例と国交省の労務単価があるからとの説明で、我々が求めている理論的・科学的な数字に裏付けされた根拠が示されないことです。

③ 市の入札制度の改善が我々の長年の要望によりやっと始まったばかりであることです。

まず、入札制度の改善を図り、その後条例の必要性を議論するべきであるということです。

このような状況から、去年は、公契約条例に始まり、公契約条例に終わったと言っても過言でない1年でした。ほんとうにありがとうございました。

また、本年から、平成27年9月15～16日に北海道（札幌市）で開催することに決定しました「ビルメン ヒューマンフェア'15 in北海道」の開催に向けて本格的に準備を進めていくこととしており、都府県協会の会員をはじめ全国から多くの方々にご来道いただきたく「楽しい・楽しかった」と思っただけのよう“おもてなし”の心を大切にしたいフェアを目指して取り組んでまいりたいと考えておりますので、会員をはじめ、関係機関や団体の方々のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方のますますのご繁栄とご健勝を心からご祈念申し上げますとともに、来年のフェアへの参加を、今からは是非予定に入れていただきますよう重ねてお願いを申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

厚生労働大臣表彰

～ 技能検定功労 ～

当協会の理事 安藤則昭氏が、去る11月19日に永年に亘るビルクリーニング技能検定委員としての顕著な功績が認められ、厚生労働大臣表彰を受賞されました。栄えある受賞おめでとうございます。今後ともご活躍を期待しております。



安藤 則昭 氏

室蘭ビル管理(株) 代表取締役

平成8年6月～ ビルクリーニング技能検定委員

平成23年5月～ 当協会 理事

公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会長 表彰

当協会の副会長 逸見龍馬氏、副会長 岡田知己氏、理事 左海富美雄氏が全国ビルメンテナンス協会長の功労者表彰を、阿相義則氏が同ビルクリーニング技能検定委員表彰を、去る7月26日に、それぞれの永年に亘る顕著な功績が認められ受賞されました。栄えある受賞おめでとうございます。今後ともご活躍を期待しております。



逸見 龍馬 氏

北日本ビル管理(株)

代表取締役

平成15年5月～ 当協会理事

平成17年5月～ // 副会長



岡田 知己 氏

北洋ビル管理(株)

代表取締役

平成15年5月～ 当協会理事

平成21年5月～ // 副会長



左海 富美雄 氏

(株)ベルックス

取締役副会長

平成15年5月～ 当協会理事



阿相 義則 氏

(株)マルゼンシステムズ

代表取締役

平成20年6月～ ビルクリーニング

技能検定委員

東北・北海道ビルメンテナンス協議会 in とがち

本年度は9月19日、20日の両日にわたり、北海道帯広市の北海道ホテルで開催いたしました。

会議は、東日本大震災の犠牲者への黙とうで始まり、逸見龍馬（一社）北海道ビルメンテナンス協会副会長の開会の言葉に続き、伊藤英明（公社）全国ビルメンテナンス協会東北地区本部

長の挨拶、一戸全国協会会長の挨拶、開催地を代表して、山田春雄北海道地区本部長が挨拶を行い、特別講演「はんえい競馬の歴史と今、そして未来」を帯広市農政部ばんえい振興室田中敬二室長の講演後、会議では「入札制度に関する現状と課題について」を議題に意見交換を行いました。



会議の模様

第51回 優良従業員表彰式

平成25年11月22日(金)12時45分より、京王プラザホテル札幌で、ご来賓、企業代表など多数のご出席をいただき、開催いたしました。

本年の受賞者は、会員企業において、日ごろから清掃や設備管理業務等に精励し永年の努力が認められた優良従業員86名と、当協会が募集した平成25年度労働災害防止論文・標語の入選者10名の方々です。表彰の栄誉に輝いた皆様に心からお祝い申し上げます。

表彰式は3階「雅の間」で行われ、開会の辞を岡田副会長、山田会長の式辞に続いて、優良

従業員一人ひとりが紹介され受賞者を代表して帯広ビル管理(株)谷口準一さんに表彰状と記念品が授与され、労働災害防止論文・標語入選者へ表彰状、記念品が手渡されました。この後、ご来賓の北海道知事(代理 森 千恵子 保健福祉部健康安全局食品衛生課長)、札幌市長(代理 飯田 晃 保健福祉局生活衛生担当部長)にご祝辞をいただき、ご来賓の紹介・祝電の披露に続き、(株)アスピビックの長谷川博幸さんから謝辞があり、石田副会長の閉会の辞で表彰式は滞りなく終了し、記念写真撮影後、3階「扇の間」にて祝賀会が催されました。



岡田副会長 開式の辞



来賓席



優良従業員 受賞者



受賞者代表 谷口準一さん(帯広ビル管理(株))



謝辞 受賞者代表 長谷川博之さん(株)アスピビック)



石田副会長 閉会の辞

● 優良従業員と労働災害防止論文・標語の入選者の方々 ●



第51回 優良従業員受賞者



平成25年度 労働災害防止論文・標語入選者

平成25年度 労働安全衛生大会

(一社)北海道ビルメンテナンス協会主催で厚生労働省北海道労働局の後援を受けて開催されました平成25年度の労働安全衛生大会は、全道8地区で総勢181社、550名と多くの参加者を得て、盛会の内に終了することが出来ました。

1 北見地区大会

- (1) 10月8日(火)13:00～「ホテル黒部」にて18社69名が参加し、地区協 田辺会長の開催挨拶、主催者として当協会山田会長挨拶、厚生労働省北海道労働局 羽毛田 守様のメッセージが紹介され、開会となりました。
- (2) 講演……北見労働基準監督署 安全衛生課長 藤本 敏宏様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止等について」と題して、パワーポイントを使用し、分りやすくお話しいただきました。労災防止のポイント・問題点、安全管理体制の確立・安全衛生教育・訓練の充実等について、特に災害事故状況の推移で大半をしめる転倒・転落の災害事例の解説があり、経営トップが率

先し安全衛生教育に力を入れ意識を高めることが事故防止につながるのお話があり、また、管内での高所(車の荷台)から落下による、災害事例の解説があり、改めて、日ごろの労働災害への姿勢を考えさせられました。

- (3) 講演……道協会 労働安全衛生委員会 中島 幹彦委員が「ビルメンテナンス業における労働災害防止ガイドラインのポイント」と題して、平成24年3月に全面改定し、中央労働災害防止協会提供冊子の統計部分を平成23年度に入れ替え道協会で作成した冊子をもとに、各ポイントの解説を行いました。また、高齢化への対応として関連DVDを流し、加齢による身体の変化等を再認識していただきました。



田辺地区協会長 開催挨拶



山田会長 主催者挨拶



藤本安全衛生課長の講演



労働安全衛生大会のもよう



中島委員の講演



小林副会長 閉会挨拶

2 十勝地区大会

- (1) 10月15日(火)13:00～「とち館」にて25社57名が参加し、地区協 白井会長の開催挨拶、主催者として当協会山田会長挨拶、厚生労働省北海道労働局 羽毛田 守様のメッセージが紹介され、開会となりました。
- (2) 講演……帯広労働基準監督署 安全衛生課長 大串 尚也様が「労働安全の講話」と題して、「リーフレット」をもとに丁寧に解説いただきました。1. 健康診断、2. 地域産業保健センターを活用下さい、3. 年次有給休暇制度、4. 熱中症を防ぐ、5. まき込まれ災害多発しています、6. なくそう酸欠症・硫化水素中毒、7. ヒヤリ・ハット報告書（活用…）、8. メンタルヘルス対策センター、9. 死亡事故多発（車両系／建設機械・荷役運搬）との接触による死亡事故…、労働安全衛生規則（抜粋）。冒頭、帯広管内での労働災害状況で特に死亡事故が多く、全道一であり、死亡事故多発（車両系／建設機械・荷役運搬）との接触による死亡事故等、労働安全衛生規則（抜粋）
- (3) 講演……道協会 労働安全衛生委員会 西村 悦児委員が「ビルメンテナンス業における労働災害防止ガイドラインのポイント」と題して、平成24年3月に全面改定し、中央労働災害防止協会提供冊子の統計部分を平成23年度に入れ替え道協会で作成した冊子をもとに、各ポイントの解説を行いました。また、高齢化への対応として関連DVDを流し、加齢による身体の変化等を再認識していただきました。
- (4) 講演……(一社)北海道ガラス外装クリーニング協会 専務理事 高橋 俊彦様から「ロープ／ブランコ作業の基本」と題して事事故例の解説、一度の事故で重篤な事態になることの説明、対策として、作業現場での挨拶、日ごろの（日常清掃・設備・管理者等）作業の環境情報を収集しこれから作業を始めることを認知してもらうことが大切で事故防止に繋がる。また、KY活動を協会として進めているとのお話をいただきました。



白井地区協会長 挨拶



山田会長 主催者挨拶



大串安全衛生課長の講演



西村労働安全衛生委員の講演



高橋専務理事の講演



後藤理事 閉会挨拶

3 釧路地区大会

- (1) 10月16日(水)13:30～「コア かがやき」にて14社46名が参加し、地区協 深井会長開催挨拶、主催者として山田会長挨拶、厚生労働省北海道労働局 羽毛田 守様のメッセージが紹介され、開会となりました。台風16号の影響でJR等交通機関が運休、また、強風悪天候中、多くの参加者にお集まりいただき開催しました。
- (2) 講演……釧路労働基準監督署 次長 山川和巳様が「ビルメンテナンス業における労働災害の防止について」と題して、労災防止のポイント、安全管理体制の確立・安全衛生教育・訓練の充実等について、特に釧

路地区での災害事故状況の推移で大半をしめる転倒・転落の災害事例の解説があり、年度別推移（北海道）で200件台と改善が進まない現状の説明をいただきました。

- (3) 講演……道協会 労働安全衛生委員会 西村 悦児委員が「ビルメンテナンス業における労働災害防止ガイドラインのポイント」と題して、平成24年3月に全面改定し、中央労働災害防止協会提供冊子の統計部分を平成23年度に入れ替え道協会で作成した冊子をもとに、各ポイントの解説を行いました。また、高齢化への対応として関連DVDを流し、加齢による身体の変化等を再認識していただきました。



深井地区協会長 開催挨拶



山田会長 主催者挨拶



山川次長の講演



労働安全衛生大会のもよう



西村労働安全衛生委員の講演



井澤副会長 閉会挨拶

4 苫小牧地区大会

- (1) 10月22日(火)13:30～「苫小牧市民会館」にて10社51名が参加し、地区協 阿部会長開催挨拶、主催者として当協会山田会長挨拶、厚生労働省北海道労働局 羽毛田 守様のメッセージが紹介され、開会となりました。
- (2) 講演……苫小牧労働基準監督署 次長 高

木 俊介様が「労働災害防止対策について」と題して、第三次産業・ビルメンテナンス業の災害状況・推移を統計データをもとに説明。大半をしめる転倒・転落の防止推進が肝要であり、先取り型のリスクアセスメントの推進が必要。労働災害事例の解説、転落事例での2m未満でもヘルメット装着なしでの重篤事故があり、労安衛法では着用義務は無いが、安全面からも三次産業で

もヘルメット装着が望ましい、また、管内で2m未満の脚立作業での転落事故の解説がありました。安全面からも定時健康診断の推進、2次健診の管理推進の必要性を説かれました。

- (3) 講演……道協会 労働安全衛生委員会 中島 幹彦委員が「ビルメンテナンス業における労働災害防止ガイドラインのポイン

ト」と題して、平成24年3月に全面改定し、中央労働災害防止協会提供冊子の統計部分を平成23年度に入れ替え道協会で作成した冊子をもとに、各ポイントの解説を行いました。また、高齢化への対応として関連DVDを流し、加齢による身体の変化等を再認識していただきました。



阿部地区協会長 開催挨拶



山田会長 主催者挨拶



高木次長の講演



労働安全衛生大会のもよう



中島労働安全衛生委員の講演



菅原副会長 閉会挨拶

5 室蘭地区大会

- (1) 10月23日(水)13:30～「ホテル サンルート室蘭」にて9社61名が参加し、地区協 安藤会長開催挨拶、主催者として当協会山田会長挨拶、厚生労働省北海道労働局 羽毛田守様のメッセージが紹介され、開会となりました。

- (2) 講演……室蘭労働基準監督署 第二方面主任監督官 吉田 佳孝様が「ビルメンテナンス業における労働災害防止対策について」と題して、管内の災害統計をもとに労働災害の傾向を解説いただき、事故事例では災

害防止のポイント、安全管理体制の確立・安全衛生教育・訓練の充実等を、配布資料にて解説いただきました。

- (3) 講演……道協会 労働安全衛生委員会 西村 悦児委員が「ビルメンテナンス業における労働災害防止ガイドラインのポイント」と題して、平成24年3月に全面改定し、中央労働災害防止協会提供冊子の統計部分を平成23年度に入れ替え道協会で作成した冊子をもとに、各ポイントの解説を行いました。また、高齢化への対応として関連DVDを流し、加齢による身体の変化等を再認識していただきました。



安藤地区協会長の開催挨拶



山田会長 主催者挨拶



吉田主任監督官の講演



労働安全衛生大会のもよう



西村労働安全衛生委員の講演



高橋副会長 閉会挨拶

6 函館地区大会

- (1) 11月5日(火)13:00～「ホテル函館ロイヤル」にて32社60名が参加し、地区協 江藤会長の開催挨拶、主催者として当協会山田会長挨拶、厚生労働省北海道労働局 羽毛田 守様のメッセージが紹介され、開会となりました。
- (2) 講演……函館労働基準監督署 署長 田中秀樹様が「労働安全の講話」と題して、管内での労働災害を、統計資料にもとづき解説いただき、死亡事件事例の説明がありました。また配布資料の、・有期労働契約の締結、更新及び雇止めに関する基準、・北海道の最低賃金、・健康診断の実施推進管

理、・ワークルール検定など幅広くお話しいただき、北見労基署長時代に起きた“竜巻の事故”で、基準局の対応のご苦労をお話しいただきました。

- (3) 講演……道協会 労働安全衛生委員会 山本 秀也委員が「ビルメンテナンス業における労働災害防止ガイドラインのポイント」と題して、平成24年3月に全面改定し、中央労働災害防止協会提供冊子の統計部分を平成23年度に入れ替え道協会で作成した冊子をもとに、各ポイントの解説を行いました。また、高齢化への対応として関連DVDを流し、加齢による身体の変化等を再認識していただきました。



江藤地区協会長 開催挨拶



山田会長 主催者挨拶



田中函館労働基準監督署長の講演



労働安全衛生大会のもよう



山本労働安全衛生委員の講演



阿相副会長 閉会挨拶

7 旭川地区大会

- (1) 11月7日(木)13:30～「ホテル ロワジール 旭川」にて28社107名が参加し、地区協山田会長の開催挨拶、主催者として左海労働安全衛生委員長の挨拶、厚生労働省北海道労働局 羽毛田 守様のメッセージが紹介され、開会となりました。
- (2) 講演……旭川労働基準監督署 労働衛生専門官 佐藤 慶司様が「労働災害の防止について」と題して、パワーポイントにて、管内での統計資料や災害発生のポイント・災害発生の分析、三次産業・ビルメンテナンス業の傾向、安全管理体制の確立・安全

衛生教育・訓練の充実等について、分りやすくお話しいただきました。また、リスク安全への意識を高めることが事故防止につながるとお話しがありました。

- (3) 講演……道協会 労働安全衛生委員会 西村 悦兒委員が「ビルメンテナンス業における労働災害防止ガイドラインのポイント」と題して、平成24年3月に全面改定し、中央労働災害防止協会提供冊子の統計部分を平成23年度に入れ替え道協会で作成した冊子をもとに、各ポイントの解説を行いました。また、高齢化への対応として関連DVDを流し、加齢による身体の変化等を再認識していただきました。



山田地区協会長 開催挨拶



左海労働安全衛生委員長 主催者挨拶



佐藤労働衛生専門官の講演



労働安全衛生大会のもよう



西村労働安全衛生委員の講演



中副会長 閉会挨拶

8 札幌地区大会

- (1) 11月25日(月)13:30～「ビルメンテナンス会館」にて45社89名が参加し、地区協川口会長の開催挨拶、主催者として左海労働安全衛生委員長の挨拶、厚生労働省北海道労働局 羽毛田 守様のメッセージが紹介され、開会となりました。
- (2) 講演……札幌中央労働基準監督署 安全衛生課長 小田桐 康一様が「ビルメンテナンス業の安全対策について」と題して、パワーポイントを使用し災害統計の解説、特に札幌管内での清掃業の災害件数が増加している点を強調され、労災防止のポイント、安全管理体制の確立・安全衛生教育・訓練の充実等について、危険の先取りで安全を

確保する「リスクアセスメント」の解説があり、第12次労働災害防止計画（初年度）の説明、日ごろから経営トップが率先し安全衛生教育に力を入れて、リスク安全への意識を高め事故防止に努めるようお話しがありました。

- (3) 講演……道協会 労働安全衛生委員会 山本 秀也 委員が「ビルメンテナンス業における労働災害防止ガイドラインのポイント」と題して、平成24年3月に全面改定し、中央労働災害防止協会提供冊子の統計部分を平成23年度に入れ替え道協会で作成した冊子をもとに、各ポイントの解説を行いました。また、高齢化への対応として関連DVDを流し、加齢による身体の変化等を再認識していただきました。



川口地区協会長 開会挨拶



左海労働安全衛生委員長主催者挨拶



小田桐安全衛生課長の講演



労働安全衛生大会のもよう



山本労働安全衛生委員の講演



労働安全衛生大会のもよう

平成25年度 労働災害防止論文 金賞

労働災害防止対策への提言

北海道クリーン・システム株式会社 若山 旭

労働災害とは人が働いている以上、必ず発生する事故であり、それをいかに最小限に食い止め、事故件数を減らすかが重要であると考えます。私の会社では全社で一貫となって労働災害ゼロを目指し、日々業務に取り組んでいますが、私が日々働く中で他の職場の事故速報を幾度も耳にします。

何故事故は無くならないのでしょうか？事故が起きる度に会社全体でその対策を考え、本社から書類で各職場に通達され注意喚起と指導を促してはいますが、それでも再び同種の事故が発生しているのが現状です。事故が起きる原因は、個々人の意識レベルの低さであると私は考えます。本社が作成する事故防止対策の書類内容がどんなに熱意のあるものであっても、見る側がその事故内容について「気を付けなければならない重大なこと」と感じていなければ、また、その様な意識が無ければ事故は運良く一時的、一定期間無くなったとしても、無事故を継続することは出来ないと思います。

ではどうしたら事故に対しての意識を高められるのでしょうか。自分が実際に事故を起こさなければ自覚しないのでしょうか。

事故を起こしたことの無い人でも日々の業務の際にヒヤリ・ハットとした体験があると思います。そして、些細な体験であっても大事故に繋がる恐れがあるかもしれないと想像してみる

ことが重要で、何故それを起こしてしまったのかと原因を考え、二度と同じミスを起こさない様に意識し行動することで大事故は防げると思います。

警備員として働いている私が日々の業務の中で意識していることは、目に見える危険の予知は当然のことで目には見えない危険、つまり、もしかしたら大事故に繋がる恐れのある小さな危険を想定し、業務に取り組むことを心掛けています。これまで大きな事故を起こすことなく現在に至っていますが、常に労働災害防止を意識した行動を取っていることが今日まで事故を起こしていない大きな要因になっているのではないかと考えています。

また、当社では安全に関する三つの項目として、基本作業・情報連絡・感受性を重要視して掲げています。毎日の朝礼時に皆で唱和し業務に取りかかるわけですが、漠然と読み上げるのではなく、「今日一日無事故で業務をやり遂げる」といった強い気持ちで読み上げることで、その日一日個々人が高い意識で業務に取り組むことができると思いますし、無事故を継続することも可能になると考えます。

最後に、労働災害防止には、個々人が高い意識を持って仕事に取り組もうとする姿勢が労働災害を限りなくゼロに近づける何よりも大きな推進力に成り得ると考え私の提言としたいのです。

平成25年度 労働災害防止論文 銀賞

「無災害職場の根底にあるもの」

北海道クリーン・システム株式会社 越後 恵理香

ビルメンテナンス業界で働く私たちにとって、欠かせない三本柱。それは「お客様」「体力」「思いやり」だ。現場から上がってくるヒヤリ・ハットの意見を通じ、無災害を目指すための基盤とは何かについて論じる。

毎月様々な現場から、私の元にヒヤリ・ハットした多くの体験談が届くが、気になる点がいくつかある。まず三本柱の一つ「お客様」に関する報告については評価の主体が他者にあるため事故と捉えられるものがあるということだ。

お客様が従業員のマナーを含め、どんな期待のもとに施設を利用されているのか。新人のうちは業務を覚えることに精一杯で、お客様の気持ちを慮ることは難しい。しかし経験の長い者は新人の頃の辛さを「共有」しづらくなっている。このことは事故や早期退職という悪循環に深く関わってくる。

次に、現場から提出された資料は全て、集約後全現場に周知を行っている。しかし、箇所は違えど内容が酷似したものが少なくない。これは現場においてヒヤリハットの教訓が十分に生かされていないことに他ならない。

最後に、体が資本である当社業務は、通勤災害、水分不足による熱中症など自己責任による危険はつきものである。しかし、業務の多忙さ、余裕の無さから自分のことは後回し、という状況は事実としてある。結果、例えば疲労により意識が朦朧としかけたという体験も「情けない」と感じ報告に至らない。また、私だけが辛いのではという疑心暗鬼に陥り、事故に繋がること

もある。自分だけで留めることはまさに悪循環そのものなのだ。

これまで問題点を述べてきたが、対策として望ましいものは何か。現場への働きかけとして、顧客満足度調査や、接遇マナー点検、新人トレーニングなどのフィードバックを元に、私は一つの結論を得た。

それは、現場長以下の従業員が新人育成、事故防止対策など会社の取組に積極的である職場は、事故が発生しにくいということだ。現場長がよく従業員の意見を聞き、意見交換会を開く職場。また自分に近い立場の人間と気軽に意見を出せる職場。そんな職場には笑顔が溢れ、親しみやすさからオーナー様からの信頼も厚く事故が少ないのである。

現場では日々お客様、オーナー様から多くのニーズがあり、それに柔軟に対応する姿勢が求められる。その声に応えるのは声をかけられた一部の人間だけではない。本社の人間も一丸となり、機会を見て職場に足を運び、従業員が感じているどんな小さな意見さえも、共有していかなければならないのだ。

本社としても、現場長向けの難しい資料ではなく、全ての従業員に深くその意味を考え職場全体で「共有」してもらうため、リーダークラスへの資料作成や研修の開催など積極的な推進が不可欠だ。

無災害職場を作っているのは他ならない「現場の従業員一人ひとり」であり、無災害職場の全ての基礎は「共有する力」なのである。

平成25年度 労働災害防止論文 銅賞

「労働災害防止対策への提言」

北海道クリーン・システム株式会社 佐々木 隼 加

「労働災害防止」それは、私達ビルメンテナンス業務に携わる者は、常に自分の心に刻み込み、心得なくてはならないことです。

私は、北海道最大の商業施設の一つである、JRタワー内の「札幌ステラプレイス」にて、マーメイドとしてお客様の案内、また、館内のフロア・トイレ清掃業務に勤めています。

館内には、小さなお子様からご高齢のお客様、北海道内や北海道外、また、海外など数多くのお客様がいらっしゃいます。私が館内を清掃する際、常に心掛けてることがあります。それは、お客様が館内で快適に過ごして頂くことはもちろんのこと、「お客様の安全」を第一に考え、清掃をすることです。

労働災害が起こる原因として考えられるのは、作業に対する「慣れ」と周囲の確認不足であると思います。私の実体験として、トイレ清掃を行っていた時のこと、トイレ内でトイレ入口付近の床をモップで拭き上げていた際、トイレ入口から小さなお子様が勢い良くトイレに入ってきました。私は、周囲にお客様がいないか、急にお客様が飛び出てこないか、危険はないかを予測し、周囲を良く見ながら床清掃を行っていたため、お子様との接触はなかったのですが、これがもし、作業に没頭し周囲を良く見ず清掃していたら、そのお子様と接触し、労働災害が発生したかもしれません。私は、改めて、作業に慣れてきても周囲に危険なことはないか予測し、周囲を良く見て清掃を行うことが、お客様

の安全に繋がるのだと、肌で実感させられました。

人は、気持ちにゆとりが出来るとどうしても気が緩むことがあるかと思います。その気持ちが緩みがちになり、作業に慣れてきた時が、一番恐いものと思います。

「労働災害」とは、遠い存在のようなもので、実は常に身近に潜むことだと私は思います。労働災害を発生させないためにも、身の周りに危険がないか予測し、常に緊張感を持つことが大切だと思います。労働災害はあってはならないこと。労働災害が発生してしまうと、お客様やオーナー様からの信頼が失われています。一度信頼を失ってしまうと、その信頼を取り戻すには、とても時間がかかると思います。

当社は、お客様が安心してご利用頂けるよう安全確保をすべてに優先することを心掛けています。今後も多くのお客様やオーナー様が安心してご利用して頂けるよう、日々、周囲に危険がないか予測し、常に緊張感を忘れず、マーメイドとしてお客様の案内・清掃業務に努めて行きたいと思います。また、お客様やオーナー様から愛される企業にするためにも、従業員1人ひとりが安全作業する意識を高め、基本作業・基本動作への徹底を図り、お客様やオーナー様の安全を第一に考え、当社一丸となり、「労働災害防止」へと全力で努めさせて頂きたいと思えます。

平成25年度 労働災害防止論文 銅賞

「安全巡視で危険予知」

北海道クリーン・システム株式会社 矢部 英喜

私の勤めている資源リサイクル工場は操業から5年目を迎えますが、操業当時と現在の資源ごみ搬入量と従業員数を比較してみると、一日平均約46㎡だった資源化ゴミの搬入量は約35㎡も増えて現在では約81㎡の取扱い量になりました。

従業員数は創業当時の6名から9名に増えてきましたが、工場内の機械も新しい大型機械に変わったり、新規に増備した機械もあり、作業環境も当時とは随分と様変わりしました。

また、作業環境が変わったことにより、日常業務の人員配置から作業方法、作業手順や機械操作の選任等々を模索し、平行して危険箇所、危険作業を洗い出し、その都度に改善、指導をくり返しながらいきまで無事故に推移してきました。

しかし、今日まで無事故を継続できたのは危険箇所や危険行為が無くなったからだとは言いきれません。「床で躓いて転倒した」「ピンが足に当たった」などの報告がある現状を考えると運良く災害事故に至らなかったと判断するのが正しいのではないかと思います。

また、無意識に重量物を一番上に積み上げたり、廃棄物を保管場所以外の場所に置く等、まだまだ日常的な慣れから次第に悪慣行に陥り「これが普通、当たり前」と思うようになり、危険やリスクに気づかなくなっていることも歪めない事実です。

そこで私は、常に現場で作業する従業員の安

全を確保できるようにするために安全巡視を行うこととしました。

安全巡視はあらかじめ、巡回日時や巡回点検箇所を決めておくのではなく、巡回対象施設の点検項目と点検ポイントのチェックリストを用意しておくことにより、工場以外のリーダーや、管理者が都合の良い日時に何時でも巡回できるようにしました。そうすることにより、現場従業員は常に見られることを意識した適度の緊張感と問題意識を持つようになり、整理・整頓・清掃に心掛け、「考動」（考えて行動）した作業をすることができます。

また、巡視員には作業ごとに発生する可能性のある災害を特定し、日常の仕事とは異なる目線、危険があるのではないかとという目線で職場を観察してもらい、機械や設備は故障する、人はミスをするを前提に作業現場を視察してもらう。

また、巡視員が現場で作業者に声をかけることで不安全行為だけでなく、挨拶や作業の進捗確認なども行い、現場でのよい関係を築くこともできます。

安全管理に正解はないと言われていますが、いつ何が起こるか分からない今日、新たな安全巡視チェック体制により作業の無理・無駄の問題点を正確に捉えて危険予知した改善や指導を推し進めて事故のない明るい職場環境にしていきたいと思っています。

平成25年度 労働災害防止論文 佳作

周りがみえると、事故を防げる

株式会社東洋建物管理 辻 本 英 樹

今年も、例年にも増して気温が高く、湿度も高い。外でのイベント等は本当に苛酷で、大変である。大事には至らなかったが、管理する者として、周りの従業員に対しての気配り、目配りの重要性について、痛感させられた事案が発生したので報告致します。

先日、大型のイベントに警備員を配置し来場者の対応を行なう機会がありました。天候は曇り空、時々陽がさすものの風もあり、内心良かったと思っていました。時間の経過とともに、気温も少し下がってきた気がします。

警備員は、外の各列班と出入り口の対応班に分かれて業務を行っていました。

突然、部下の一人から具合が悪いと連絡が入りました。熱気に具合が悪くなったとのことで取りあえず、休憩させ、水分を多めに取らせる指示を行いました。

自分は、外周の誘導で休憩も無く配置について仕事を行っていましたが、脱水症状が出るのか、熱中症になりそうだとかは全く感じられないくらい、言わば順調に進んでいただけに、「びっくり」したのが本心でした。

しかし、それは外回りに配置された極一部分の隊員が色々な条件が揃い、過ごしやすい状況であっただけで、他の箇所取り分け出入口の内部に配置された隊員は、来客の熱気、気温、湿度で想像を超えた環境にあったのでした。幸い、すぐに回復しましたが、自分の置かれた状況を

そのまま全てに当てはめ考えてしまった、責任者として、とても反省しています。死亡するケースもあることから、今後は、細部まで調査して備えるようにしたいと考えています。特に、重要と思われる当社の対策を記載いたします。

- ① 水分を補給させる為、十分な飲み物を準備する。
- ② 塩あめを必ず持参し、隊員に数個配布。
- ③ 適時、休憩を取り体調を整える環境作り。
- ④ 隊員の体調管理、特にイベント前日等の体調で、翌日の勤務の判断を的確に行う。
- ⑤ イベント中等の管理職巡回時に、必ず配置警備員に声を掛けて、異常の有無や体調の状況等も確認する。

警備員の病歴等も勘案する必要がある。重要なことは、管理職が警備員を選抜し、その警備員を配置し、その場での業務を行う環境等を把握、総合的に判断して休憩交替要因の増員、休憩の場所、飲料、塩分補給等、警備員に係る全てのことを考えた、事前調整の在り方に、心から反省し、今後に反映してまいりたいと存じます。警備員が救急車で搬送される事態になれば、契約先様には多大なご迷惑をお掛けすることとなることでしょう。

管理職としての責任、警備会社としての責任、警備員の命を預かる者として、自覚と責任を持ち、協力してまいります。

平成25年度 労働災害防止論文 佳作

「安全対策は“今でしょ”」

北海道クリーン・システム株式会社 荒井 慎

東日本大震災により引き起こされた福島第一原発での想定外の重大事故が起こったことを教訓に、従来の安全基準で定められた以上・以外の事象が起こる場合の論議が交わされていますが、私の職場である産業廃棄物処理工場でも、弊社で起こった過去の事故例を基にしたイラストを使って毎月一回、朝礼後に上司が中心となって危険予知訓練を行っております。

はじめは、イラストの中に見える危険にしか目がいかず、他に何が潜んでいるのか、どんな危険が想定されるのかまでは見ることはできませんでしたが、今では想定外の危険を見出ししたり、予知した危険の対策や通常あり得ないことまで議論されるようになり、危険予知訓練により従業員の安全意識の高まりが感じられます。

さて、私の職場に今年の2月にプラスチック粉砕機が導入され日々作業が行われていますが、はじめは慣れない作業でもありペットボトルと缶の分別やベルトコンベアの高所でのメンテナンスなども慎重に行っていましたが、缶やビンと一緒にベルトコンベヤに流して慌てて非常停止スイッチを押しに制御盤まで走ったり、高所での機器のメンテナンスも不安定な姿勢で行われるなど慣れの作業が見受けられるようになりました。

この不安はみんなが同じように抱えていたこともあり、労働災害防止の最優先事項として取組むこととし検討を進めました。

従業員同士で粉砕機での作業やメンテナンス

に潜んでいる危険を予知し、各々が持っている知恵や技術を出し合い検討した結果、意外にも簡単に意見がまとまり改善策をたてることができました。いつやる？ 今でしょ！ さっそく実行に移しました。

改善策1. 非常停止スイッチの増設

御盤から配線を延長し作業者の手の届く位置に増設したことで工場内を走る危険性もなく作業の効率性もよくなりました。

改善策2. 高所作業用足場の設置

メンテナンス時の高所作業用に建設用足場資材を利用して作業ステージを組立て、誰でも安全な作業が行えるようになりました。

ステージの組み立てに当たっては、耐荷重や安全帯、さらに安全帯取り付け金具、装置室入り口には「高所作業中」の注意喚起ポスターの作成など、ありとあらゆる危険を想定した事故対策を自分達で考え、自分達で実行したことで、常に安全を意識することが身に付いたと確信しています。

作業現場は常に危険と隣り合わせであり、日々の作業でも常に危険を予知しながら作業することと、安全に作業が出来る環境作りが必要と考えています。

今後も全員で危険を共有し、気がついたことは「いつやるの？」ではなく直ぐに対策・実行し、無事故継続で明るい職場、家庭を目指し、安全に対する感受性を高めながら、労働災害防止に率先して取り組んでいきます。

平成25年度 労働災害防止論文 佳作

「安全意識向上を目指して」

北海道クリーン・システム株式会社 小野 貴裕

私の職場は各事業所から出される廃棄物の収集運搬業務と発泡スチロールや缶・ビン・ペットボトル、ビニール等を当社工場に搬入して、分別、破碎又は溶解、圧縮をして再資源化の中間処理業務を行っています。その中で私は、工場業務に従事していますが、今年の4月にリーダーを拝命し、嬉しさと同時に責任の重大さを感じました。

私は改めて工場の安全と改善について考えてみました。

はじめに、収集先の増加に伴い、工場への搬入量が以前と比べて約2倍近くも増加していて、作業量も比例して忙しくなっている状況と、新型機械の設備や新規の機械の増備などによる作業環境や作業手順の変更などがあり、この現状に危険箇所や危険作業が無いのかを点検してみたところ、搬入した缶やビンが床に散乱したままの状態の中で作業をしていたり、床が滑って転びそうになってもそのままの状態にして作業をしている。または、無意識にガラス瓶の入ったフレコンバックとカゴ台車の狭い間を無理に通り返したり、重量物を高い所に積み上げる不安全行為が目を見ました。そこで私は、このような危険箇所や不安全行為を解消するためにはどうしたら良いのか考えてみました。しかし、なかなか妙案もなく思いあぐねていたところ、

上司から一人で悩んでいないで工場の人々と一緒に検討した方が良いとのアドバイスがあり、みんなと話し合ったところ、それぞれの作業動作が重複している時間が多々あり、その時間を省略すれば余裕をもった行動ができることの結論に達し、「作業計画書」を作成して実施することにしました。作業計画書は、担当作業ごとの作業内容が把握できるため、おのおのが作業に責任を持ちムリ・ムラ・ムダな作業を少なくすることができした。また、担務別の作業内容が細かく把握できるので作業時の危険も予知することができます。今では朝礼後にそれぞれが作業計画書に安全宣言を書き込んでから作業にあたり、先を見据えた作業、臨機応変な作業ができるようになり、安全に対しても目配り、気配りができるようになってきました。

私は、この問題解決で大切なことを学びました。それは、仲間とのコミュニケーションの大切さです。自分ひとりであれこれ策を巡らせていても中々先へは進めません。仲間と検討することが問題解決の近道であることを悟りました。

私は、これからも決して目を閉ざさず、決して耳を塞がず、決して口をつぐまずに大切な仲間の良き相談相手となり、良き模範者となるように日々努力いたします。

平成25年度 労働災害防止論文 佳作

「ヒヤリハット体験と対応」

北海道クリーン・システム株式会社 佐藤 篤

多数の人が出入りする私の職場において、ヒヤリハットは、誰もが体験する事象であり怪我や事故の前兆でもある。

今年は安全作業で頑張ろうキャンペーンが終了した途端、次々と事故が起こっている気の緩みと言ってしまえばそれまでだが、職場の安全管理体制を問われかねない事態だ。そこで私自身が体験したヒヤリハット体験とそのような事象に対面しないようにするためにはどのような対応が必要か自分なりの意見を書いてみようとする。

まず、私自身が体験したヒヤリハットの体験について紹介しよう。それは今年の5月だった。時刻は朝からの勤務が始業してまもなくだったので9時30分ぐらいだったと思う。私はひと月に一度ある設備点検の最中だった。通路などの共有部の点検は終わっていたがテナント不在により思っていたより順調に進まず、開店作業に遅れそうで焦っていた。手元の図面を見ながら点検作業の終わっていない店舗を確認しながら移動しようとしてバックヤードから出ようとした時だった。扉の前に配送業者の台車があり、足がぶつかって転倒しそうになり、ヒヤリとしたことがあった。この時は開店前だったので周囲に誰もおらずすぐに体制を立て直せたため事なきを得たが、もし店舗スタッフや配送業者がいたらと考えるとぞっとする経験だった。

次の体験はこれも今年のできごとで4月ぐらいの出来事だった。それは巡回中にバックヤ-

ードから店舗側の通路に出ようとした時だった。手元にあったメモを確認しながらつい確認を忘れて扉を開けてしまい通行人にぶつかりそうになりヒヤリとした。幸い通行人は気にする様子もなくそのままいってしまったが、一步間違えば相手に怪我を負わせかねない体験だった。

この二つの体験に共通するのが慣れと油断だ。一つ目は慣れた作業であり時間配分を間違えていたことと、こんな場所に荷物を置かないだろうと油断があった。二つ目は慣れた巡回中に、「ながら作業」を行いこれくらい大丈夫だろうという油断があった。そしてまさかこのくらいで自分がという思い込みもあった。

この二つの体験を踏まえ私が必要だと推測した対応がKYT訓練だ。これは作業中にどんな危険が潜んでいるか探し出す訓練で他の企業でも大きな成果を上げているという事例がある。さらに今年作成したハザードマップの活用だ。これは館内の危険が潜んでいそうな場所を写真や地図で解説しており非常に使いやすいこの二つを活用すれば間違いなく、ヒヤリハットは減らしていけるだろう。

最後にこうした商業施設でのヒヤリハットの多くが第三者が関わることが多くリスクマネジメントの観点からも軽視できないものが多く含まれている。このことを踏まえて職場全体の意識向上と統一のために創意工夫を重ねていきたい。

平成25年度 労働災害防止論文 佳作

超高齢社会を生きる

北海道クリーン・システム株式会社 山中 清

日本人の平均寿命がどんどん延びていて、超高齢化社会に突入している。つまり、現役をリタイアした後の時間が膨大になりつつある。ちなみに現役時代の休日数と、リタイア後の休日数？を比較してみた。現役期間を二十歳から六五歳までとし、寿命を八五歳までとしてみた。現役四五年間の休日は年休を考慮しても五〇〇〇日ちょっとである。リタイア後の休日数？は二十年間で七三〇〇日となる。

なんとリタイア後の休日数？の方が圧倒的に多いのである。この長い長い期間をいかに健康で楽しく過ごすかは、現役時代のうちに築き上げられるかどうかにかかっている。

私が現役である今心がけ、また実践していることを開陳したいと思います。

○健康診断の結果を理解する

世間諸氏の皆さんは毎年の定期健康診断が近づくと、少しでも数値を良くしようと努力し、それが済めばまた普段の生活に戻ることをしてる方が多いのではないのでしょうか？

それは全く逆で、むしろ普段通りの生活をしたままで診断を受け、その結果をいかに克服するかのほうが大切だと思います。そしてその結果をいかに普段の生活の中で改善するか、私もご多分に洩れず生活習慣病の兆候が現れてきましたので、その対策を少しずつ実行しています。

○肥満度と高血糖値との関係

「あなたの体は、あなたの食べたもので出来

ている」というキャッチコピーがありますが、まさにそのとおりだと思います。

血糖値の高い方は、毎日体に取り入れる食材をちょっと工夫するだけで結構血糖値を下げる事ができます。血糖値が高い体は痩せにくい体です。血糖値と肥満度はある意味相関関係にあります。白米には玄米を入れて、食パンよりライ麦パンを、肉類は脂肪控え目で適量に、野菜は多めに酢を併用しましょう。

野菜はジャガイモ、ニンジン、カボチャは少し控え目に。

あとは運動を普段の生活の中にうまく取り入れること。通勤時間を有効に使うため、階段を通る、帰り道に少し遠回りのコースを作る。帰宅後に少しストレッチを取り入れ、無理のない範囲で少しずつ回数を増やす。

歩く距離を少しずつ増やし、できれば一駅前で下車して、一駅区間歩けるようになれば上出来です。また、ストレッチも最初は各5回ぐらいから始め、筋肉痛が治ったら1回ずつ増やしていく。決して無理はしないこと。無理は諦めにつながります。継続は自信につながります。

普段の食習慣に工夫を凝らし、運動習慣を持続させる。この二つの改善で体重が減ってきたらあなたは生活習慣病の克服者となれます。

諦めずにじっくりと取り組みましょう。そして長いリタイア後の人生を明るく楽しいものにするために、今日から実践しましょう。

平成25年度 労働災害防止標語 入賞者

金賞

危ないと 気づく力も プロの技

東京美装北海道(株)釧路支店 松 澤 恒 治

銀賞

慌てずに 予知予知歩きで 事故はゼロ 協和総合管理(株)

斉 藤 千 秋

慣れるほど 忘れてしまう緊張感 初心に戻って 安全確認

日本クリーン北海道(株) 若 山 賢 一

銅賞

決めた事、守るあなたが、守られる

太平ビルサービス(株)旭川支店 首 藤 和 浩

その危険 みんなに伝えて 事故防止

北海道クリーン・システム(株) 山 本 一 郎

慣れた頃、自信と過信で、増える事故

北海道クリーン・システム(株) 高 坂 孝

佳作

「ありがとう」 感謝の気持ちと みんなの笑顔

(株)ベルックス 相 馬 恵 美

あいさつに 響く心は 信頼感

北菱産業埠頭(株) 神 林 武 寛

あせらず無理せず油断せず みんなで目指そうゼロ災害

(株)ベルックス 成 田 大 輔

あなたのヒヤリはみんなのヒヤリ 一人一人が安全確認

北海道クリーン・システム(株) 近 藤 順 子

あわてるな 安全は 時間と心のゆとりから (株)ベルックス

白 川 健太郎

安全は 目配り 気配り 思いやり

北海道クリーン・システム(株) 山 中 秀 子

危ないぞ 素手で拾うな 針刺し注意 東京美装北海道(株)北見支店	笹 島 謙 一
気をつけよう 油断・過信が事故を呼ぶ 習慣づけよう危険予知 北海道クリーン・システム(株)	我 妻 直 哉
気を抜くな 毎日変わる危険箇所 徹底するぞ危険予知 (株)キタデン	刈 田 圭 一
繰り返す 仕事の中に 危険の芽 初心忘れず KYT 北海道クリーン・システム(株)	寺 林 康 樹
けがで 泣くより 無事故で笑え 今日もめざすぞ ゼロ災害 日本クリーン北海道(株)	佐 藤 昭 吉
事故のもと 慣れと慢心 思い込み (株)ベルックス	中 村 敏 男
その場限りの安全は その後の事故の導火線 北海道互光(株)	小田島 陸
慣れるほど 心のすきまに ひそむ事故 (株)ベルックス	菊 池 和 子
二度ある事は三度ある 一度あったら再確認 協和総合管理(株)	佐 藤 清 実
人に頼るな任せるな 安全作業は自分から 東京美装北海道(株)網走営業所	鎌 田 勝 義
「まあいいか」 慣れと過信が事故まねく 東京美装北海道(株)網走営業所	阿 部 芳 文
面倒と 思う気持ちが 事故のもと 中央ビルメンテナンス(株)	清 水 裕 明
予知できる 感性鍛えて 事故防止 北海道クリーン・システム(株)	野 村 俊 明



各地区協トピックス

札幌 ●経営セミナー

8月2日(金)13:30より、ビルメンテナンス会館において、ビルメン企業での勤務経験のある特定社会保険労務士である「久保田 康仁」氏をお迎えし、改正された労働法令や業界特有の労務問題をテーマとした「経営セミナー」が開催されました。

非会員（有料による参加）4社5名を含む45

社79名の皆様にご参加いただき、第1部では「改正労働契約法及び改正高年齢者雇用安定法への実務対応について」、第2部では「ビルメンテナンス業に多い労働問題への対応について」ご講演いただきました。初めての参加者が半数を超え、経営者のほかに総務系担当者も多くご参加いただき、熱心に聴講していただきました。業界ならではの労務管理の関心の高さを改めて実感するセミナーとなりました。



●ボランティア清掃

9月25日(水)、今年で4回目となる札幌市内にある「児童養護施設」のボランティア清掃を「社会奉仕活動」の一環として実施しました。16社・65名の会員企業のスタッフが5施設に分かれて参加し、午前9時前から正午過ぎまで、床面のワックス塗布、ガラス清掃等に汗を流しました。

施設の関係者や子どもたちも清掃スタッフの「プロの技」に視線が釘づけとなり、またピカピカになった仕上がり状態を見て満面の笑みを浮かべていました。また、終了数日後には各施設長様からの御礼のお手紙や子ども達からの喜

びの絵手紙も届けられました。

当日の清掃奉仕活動は、「北海道建設新聞社」の取材を受け、翌々日の紙面に掲載されました。

社会貢献活動への参加企業を官公庁入札において評価する傾向が強まっていることを勘案し、参加いただきました会員企業には「社会貢献事業参加証明書」を発行しましたので、企業PRや官公庁への提出書類にご活用いただきたいと思います。

最後に、ボランティアの受入にご快諾いただいた札幌市様及び施設関係者の皆様、参加された会員企業、並びにスタッフの皆様、資機材をご協賛いただきました(株)リンレイ様、(株)セイハン様に心より御礼申し上げます。



旭川 ●第19回ビルクリーニング技能競技大会

6月4日(火)旭川市民文化会館にて、応援・見学者約50名と大会役員を含め熱気のコもる中

で10名の出場選手が日頃の実務と訓練の成果を大いに発揮し金賞を目指し奮闘しました。



●合同親睦パークゴルフ大会

9月7日(土)北海道ビルメンテナンス協会旭川地区協議会と警備業協会旭川支部との合同親睦

パークゴルフ大会を「グリーンリーフ当麻パークゴルフ場」で開催しました。当日の天候はあいにくの曇り空でしたが、13社43名の参加者で競技が開始されました。



北見 ●第10回親睦パークゴルフ大会

9月7日(土)に快晴の中、北見市川東河川敷パークゴルフ場にて男女合わせて16名の出席のもと開催されました。今年の北見地方は夏場に極

端に雨が少なかった影響での芝枯れが心配されましたが、参加された皆様は日頃の『腕前』を発揮されたことと思います。



釧路 ●第3回釧路地区ビールパーティ

7月26日(金)恒例となりました、北海道ビルメンテナンス協会釧路地区協議会主催のビールパーティを開催しました。この行事は会員及び地

域のビルメンテナンス関連企業、団体の皆様との親睦と交流を深めることを目的に、広く参加を呼びかけ約130名の参加をいただくことがで

きました。ご参加くださいました各メーカーの皆様

様に厚く御礼申し上げます。



●技術向上研修会

今年度、地域業界のレベルアップ、コスト削減等を目的に研修会を会員は勿論、非会員にも広く呼びかけ、6月26日(水)株式会社リンレイ様による「塩ビ系床材のメンテナンスポイント」、9月27日(金)、住友3M(株)様とタケヤ刷子工業(株)

様の共催により、「パットの知識と用途」の講演と1回目「最新型の自動床洗浄機」や2回目「SPPパットを使った床洗浄」などデモンストレーションを交え実施いたしました。知っているようで知らなかったことも多く、大変有意義な講義内容でありました。次年度更に皆さんの役に立つ研修会を企画、開催する予定です。



十勝 ●ビルメン・警備業合同ゴルフ・パークゴルフ・野遊会

6月29日(土)、北海道警備業協会帯広支部との合同により芽室町にて開催されました。競技

終了後に嵐山スカイパークにて野遊会表彰式が行われました。



●社会奉仕活動

10月30日(水)、恒例の清掃奉仕作業を帯広市立保育園5施設においてガラス清掃および高所

清掃を実施しました。当日は会員14社、約30名が参加し、後藤地区協理事の挨拶、帯広市役所の方の感謝の言葉を頂き5施設の保育園に分かれ作業開始となりました。



苫小牧

●清掃奉仕活動

平成25年8月19日(月)13:30より、恒例の清掃奉仕作業を「勇武津資料館及び蝦夷地開拓移住隊士の墓」において、実施しました。

当日は、気温28度と暑い日となりましたが、会員10社、約25名が参加し、阿部地区協会長の挨拶の後、館長から感謝の言葉を頂き、作業開始となりました。



室蘭

●清掃奉仕活動

7月30日(火)、室蘭地区協議会の清掃奉仕活動

として、本年は、社会福祉法人 室蘭言泉学園施設のガラス及び床清掃作業を行いました。



●こども絵画コンクールへ作品募集活動

室蘭市の指定管裡（学童保育）事業の一環として、全国協会主催の「こども絵画コンクール」の作品募集に力を入れ、毎年参加児童が入選しております。



10月3日から5日にかけて、2年に一度の研修旅行を15社16名参加で実施いたしました。

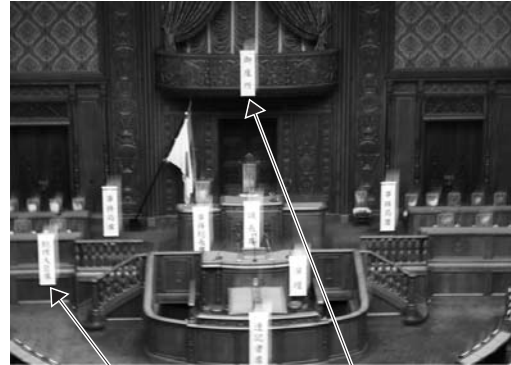
記事については掲載済みではありますが、今回は秘話を掲載いたします。

①東京スカイツリーのガラス清掃用のゴンドラ



ゴンドラ

②国会議事堂の着席



御座所

総理大臣席

③世界最大の巡視船



1992年プルトニウム運搬船護衛用に建造された巡視船「しきしま」。排水量 7,175t、航続距離 20,000海里。ヨーロッパから日本まで航行可能。

●ボランティア活動

平成25年度の活動といたしまして、昨年度

に引き続き10月30日(水)に株式会社TSCテスコの従業員4名で「社会福祉法人函館国の子寮」にて清掃奉仕活動を実施しました。



ピル×シひろば

投稿者

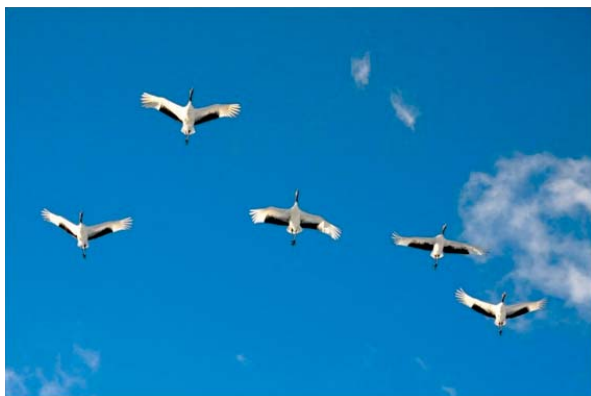
株式会社東洋実業 釧路営業所 深瀬 一範

私の趣味は小学校の頃から続けている写真撮影です。当時は小遣いを貯めて買った一眼レフカメラで家族の写真を撮りまくっていました。その後進学した中学の理科の先生が有名なアマチュアカメラマンだったことから、写真展を見学する等ますますカメラにのめり込み、社会人になってからは行動範囲も広がり、時間があれば道東を中心に丹頂鶴を主に撮っていました。その後、それまでの電気工事会社を辞め、現在の東洋実業に入社してからは、以前に比べて休みがきちんと取れるようになったことから、撮影に行く回数も増え被写体もエゾリス、シマフ

クロウ等様々な野生動物を撮影しています。

動物の撮影は忍耐力が勝負です。一晩中狙っても空振りすることもあります。ファインダーの向こう側に集中しているときは、時間も寒さも忘れ、無心で被写体が現れるのをひたすら待ち続けます。掲載したシマフクロウの写真は、昨年12月に極寒の羅臼で6時間以上粘って撮影したもので、この一枚が撮れば全ての苦労を忘れることができます。

今後は、冬の大雪でエゾクロテンを狙おうと計画しています。



<私の自慢>

私とこの車の付き合いは6年になります。平成19年3月、退職後の趣味にと思い「部品取り車」と2台格安で購入しました。「部品取り車」はソレックスキャブ2.0のエンジンで今でも人気のタイプ、もう一台は、車検を取ればすぐにでも走ることができる、SUキャブレター1.6のエンジンで左ハンドル仕様。さてどうしたものか考えた末、時間はかかるが退職後の暇つぶしで「いいとこどり」と考えました

1970年式（昭和45年）のフェアレディです。原形は1959年（昭和34年）にダットサンスポーツとして1.0ℓのエンジンを積んで発売され主に北米に輸出されました。エンジンはその後1.2、1.5、1.6ℓとなり1967年にソレックスキャブレターを装備した2.0ℓが販売されました。以来「フェアレディZ」が発売される1970年以来冬と雨降りは乗りません。

1970年式（昭和45年）のフェアレディです。同じ年に「フェアレディZ」が発売されて生産終了となった最終モデルです。通常はオープンカーですが突然の降雨に備えるためこの日はハードトップをつけています。幌も積んでいますが装着にうまくいって15分以上かかるのです。今の車のようにスイッチを入れると自動的に装着する構造になっていません。窓ガラスは手動でトランクや燃料給油も車から降りて鍵を持って開けなければなりません。もちろんフェンダーミラーも何度も降りて調整です。パワーやオートという装置がないのです。唯一付いているのはフェンダーのロックを外すワイヤーノブが付いているだけです。当時の車に乗ったことがある方は思い出せると思いますが、この時代の車はすべてこの仕様でした。

ラジオは付いていますが、いまの車のように防音対策などされていませんので、エンジンがかかっているときはほとんど聞こえません。リヤクッションは貨物自動車と同じ板スプリングで乗り心地は良くありません。ではなぜこんな不便な車に乗るかですよね。



「乗るのも修理するのも好きなの！」の一言です。例をあげれば、今年の春は水漏れが発生しました。水漏れ箇所を3日ほどかけて分解しながら探し、部品を頼むと、「生産終了です」とかわいい女性の部品担当者がPC画面を見ながら答えます。仕方なくあきらめ、車庫に戻って部品の寸法をスケッチして、年配の管理者の忙しくない時に相談すると「品番が変更になっている」とのことで1週間ほど経過して手に入りました。わずかに直径10mm程のメッキされた鉄製プラグ（170円/個）を2個交換し、外した部品を組み立てて完成です。昔は部品係に現物を持っていくと、即座に「1トントラックも同じものを使っていたはず」と言って合わせてみてくれました。今は経験を積まなくても画面さえみているとだれでも答えられる時代になりました。このことが悪いとは言いませんが、なにか物足りなく感じるのは私だけでしょうか。この文章を打ちながら私たちの仕事と共通していることに気がつきました。洗剤やワックスは年々進歩して機械もそれなりに使っているが、ほとんどが経験による手作業ではないか。納得です。

追伸；2級ガソリン自動車整備士の国家資格は昭和40年代に取得しています。



私の趣味

1971年（昭和46年）から、写真に興味を持ち、風景写真等を取り続けております。

現在は、ミノルタα・ソニーαシリーズのカ

メラで300ミリの望遠レンズを使用中。

最新版は、フジフィルムのFINEPIXの光学ズームで1000ミリを使用。

所有するカメラは、10台ほどでヤシカのカメラも所有。



旭川の旭山動物園のブラックスワンの親子



躍動 1



躍動 2

会員の皆様へ

ビルメンひろば 作品募集!!

[デジカメ写真] の部

北海道各地の名所旧跡、各地の風景、ペット、植物園芸等、趣味、スポーツ等作品を募集しています。

採用された作品は、北翔の「表紙」や「ビルメンひろば」に掲載いたします。

(デジカメ写真サイズは 1枚5メガ以内、作品には簡単なコメントを添えて)

[文芸作品] の部

・短歌／俳句／川柳 1回に各5点まで

・エッセイ

随筆／随想／業務の体験談等 (題材自由) 1200文字以内

◎ 作品はメールにて連絡先を明記しお送り下さい。

(連絡先・会員企業名・氏名・連絡先電話番号)

応募受付メールアドレス → bmhiroba@kita-bm.com

◎ 締 切 随 時

※ 採用された作品には 記念品を進呈いたします。

※ 採否並びに添削は編集部に一任下さい。

※ 応募いただいた作品は、採用・不採用を問わず返却いたしません。

問い合わせ先 TEL 011-615-1100 (北翔 事務局)

編集後記

◎ あけましておめでとうございます。

皆様には清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

◎ 巻頭、公務ご多忙のところ、北海道知事 高橋はるみ様、札幌市長 上田文雄様、(公社) 全国ビルメンテナンス協会 一戸隆男様から新年のご挨拶を頂き、厚くお礼申し上げます。

◎ 当協会の理事 安藤則昭氏が厚生労働大臣表彰、当協会の副会長 逸見龍馬氏、副会長 岡田知己氏、理事 左海富美雄氏が全国ビルメンテナンス協会長の功労者表彰を、阿相義則氏が同ビルクリーニング技能検定委員表彰を受賞され、誠におめでとうございます。

◎ 東北・北海道BM協議会inとち、第51回優良従業員表彰、労働安全衛生大会、労働災害防止論文・標語の入選作品を掲載いたしました。

◎ 平成25年度の各地区協議会活動の中から数点トピックスとして掲載しました。

◎ ビルメンひろばに各地区協議会広報担当者に協力いただき投稿作品を掲載いたしました。

編集責任者 広報委員長 川 口 孝 志

建築物を利用される人々の安全・衛生、快適な環境を維持・改善するため、その場所で働いている人達等に対し、法律に基づく従事者研修等を主に実施している研修センターです。



一般財団法人
北海道建築物衛生管理研修センター

〒060-0003
札幌市中央区北3条西17丁目2番3号 ビルメンテナンス会館
TEL (011) 615-1100 / FAX (011) 615-7055

快適な空間づくりをトータルサポート

環境美化用品総合メーカー

TERAMOTO

大阪・東京・名古屋・札幌・仙台・埼玉・横浜・広島・福岡
<http://www.teramoto.co.jp/>

ISO9001 八尾工場 認証取得 成田工場
ISO14001 八尾サイト(八尾工場) 認証取得 成田サイト(成田工場・成田物流センター)

洗淨以上 はくり未満

ワックス皮膜の黒ずみ除去に！ はくり周期の延長に！

洗淨とはくりの中間の洗淨が可能ですので、
黒ずみ、深いキズの除去ができます。
高い洗淨効果で皮膜の過剰な蓄積が防止され、
はくり周期の延長と軽減ができます。



膜厚コントロール型表面洗淨剤

ポリース ユシロン
ハイブリッドクリーナー

 ユシロ化学工業株式会社

(北海道営業所)

北海道苫小牧市表町5丁目4番7号苫小牧海晃第一ビルディング3F

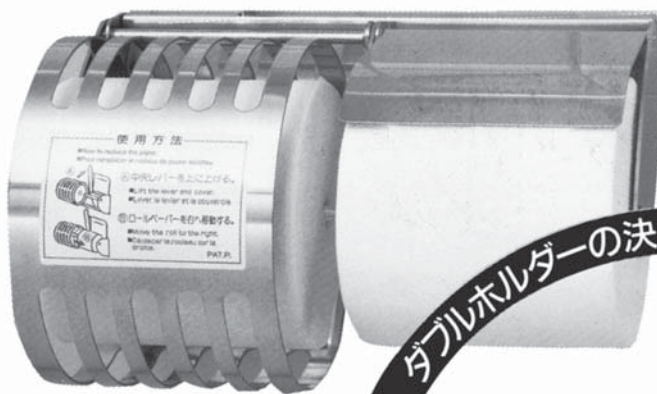
お問い合わせは こちらまで

TEL : 0144-56-5871

FAX : 0144-56-5872

業務用トイレに最適！

3倍巻ロールの〈コアレス〉だから、こんなに便利でお得



- ① 取り替え手間が3分の1
- ② 収納スペースも2分の1
- ③ トイレがつまる原因となるボール芯が無く、ゴミも減量。

更に
カギ付きだから
盗難の心配は
ありません。

トイレットペーパー・ティッシュペーパー・タオルペーパーのことなら

道栄紙業株式会社 札幌営業所

〒060-0807 札幌市北区北7条西9丁目2-11 TEL 011-707-2323
FAX 011-707-2340

速効強力・低臭快適 はく離剤

ハクリスター[®] SS

はく離作業性
さらに向上

速効溶解

Speedy Solution

●塗布した直後から皮膜を素早く溶解します。

強力な浸透性で
作業快適

強力溶解

Strong Solution

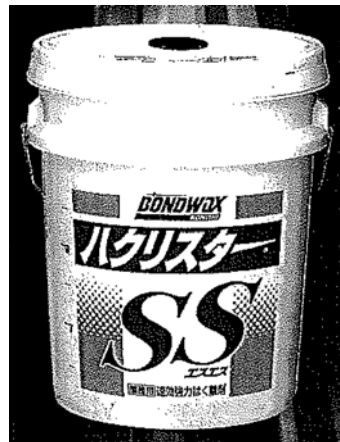
●厚く蓄積した樹脂皮膜にも、深く強力に浸透します。

作業時・作業後の
不快感軽減

低臭快適

Low smell

●不快なおいを抑え、快適作業を実現します。
●作業後の残留臭気を軽減します。



コニシ株式会社 <http://www.bond.co.jp/>

大阪 本社 / 大阪府中央区道修町1-7-1(北浜TNKビル)	〒541-0045	TEL 06(6228)2811	FAX 06(6228)2966
東京 本社 / 東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア)	〒101-0054	TEL 03(5259)5743	FAX 03(5259)2146
名古屋支店 / 名古屋市中区栄5-28-12(名古屋若宮ビル)	〒460-0008	TEL 052(262)8173	FAX 052(262)8175
福岡支店 / 福岡市南区清水3-24-24(日吉ビル)	〒815-0031	TEL 092(551)1761	FAX 092(551)1545
札幌支店 / 札幌市東区北八条東3-1-1(宮村ビル)	〒060-0908	TEL 011(731)0351	FAX 011(731)0357

窓全般

ドア全般

床・家具の補修リペア

金物・硝子・アミ戸

いつまでも、大切に使い続けるために！！

創業42周年の信頼と実績。住宅から高層ビルまで制作・施工。窓とドアの修理と改修メンテナンスは安心してお任せ下さい。お気軽にご相談下さい。



北海道知事許可(般-19)石第14293号

株式会社 **まどや** SGM

札幌市白石区川北2条1丁目19番7号 TEL011-871-7244 FAX011-871-7339

HP <http://madoya-sgm.jp>

E-mail:madoya@ia9.itkeeper.ne.jp



SEIHAN

施設管理用品
清掃用品総合カタログ
2012-2014

清掃用品・資機材のことなら・・・

SEIHAN 株式会社 セイハン

Seihan, we promise you being honest, positive, quick, and smiling all the time.

本 社	〒003-0832	札幌市白石区北郷2条2丁目2-14 TEL.011-873-2000 FAX.011-873-2100
旭川営業所	〒078-8243	旭川市豊岡13条6丁目3-6 TEL.0166-35-7878 FAX.0166-34-7588
仙台営業所	〒984-0051	仙台市青葉区新町3丁目10-35 東立地産ビル TEL.022-792-5211 FAX.022-792-5220
東京事業部	〒124-0023	東京都葛飾区京新小通1丁目15番19号 大一産業ビル TEL.03-6657-7201 FAX.03-3691-0887
台北事業部		台北市中山北路一段72号12F 東勤台湾内 TEL.886-02-2667-7172 FAX.886-02-2531-3818

SEIHAN

人と地球を守る
やさしい環境づくりに。



ホームページもございます。よろしければ是非、検索してみてください。

www.seihan.biz

検索

Diverseyがお届けする 新製品ラインアップ

www.diversey.co.jp

▶今すぐアクセス

TASKI
Diversey



ウェットバキューム

JWD-220T JBMA

平成25年度より採用

- ▶ビルクリーニング技能検定実技作業試験
(公益社団法人全国ビルメンテナンス協会実施)
- ▶ビルクリーニング科単一等級技能士コース訓練
(一般財団法人建築物管理訓練センター実施)

病院・老健施設向け



速乾性床用樹脂仕上剤(ワックス)

ヘルスケアコート

環境配慮 + 高耐久



床用樹脂仕上剤(ワックス)

**グリーンプラス
ワックスEX**

ディバーシー株式会社 For more information visit www.Diversey.co.jp

●札幌営業所 / 〒003-0807 札幌市白石区菊水7条2丁目7-1 (札幌流通倉庫ビル) TEL.011-817-6765 FAX.011-817-6768

Diversey
for a cleaner, healthier future™

生活と環境に「キレイ」を届ける



刷子及び清掃用品の製造並びに販売

タケヤ 刷子 工業株式会社

各種刷子/業務用ワックス・洗剤/清掃用資機材/厨房衛生用品他 <http://www.takeyaburashi.co.jp>

本社	〒060-0031	札幌市中央区北1条東2丁目4	TEL(011)221-3116	FAX(011)241-0036
函館営業所	〒040-0072	函館市亀田町20番10号	TEL(0138)41-3480	FAX(0138)41-9004
旭川営業所	〒078-8218	旭川市8条18丁目右7号	TEL(0166)34-6100	FAX(0166)34-6700
帯広営業所	〒080-0801	帯広市東1条南20丁目1番地	TEL(0155)27-1681	FAX(0155)22-0191
東京営業所	〒343-0844	埼玉県越谷市大間野町4丁目155	TEL(048)986-1351	FAX(048)989-0878
北海道工場	〒072-0006	美唄市東5条北9丁目3番18号	TEL(0126)63-3961	FAX(0126)63-3962

世界初! 洗浄プログラム制御

鍵管理システム搭載で均一清掃を実現



業務用自走式床洗浄機
BR 45/40 W Bp プレミアム



違いを生む ケルヒャーの床洗浄機

■鍵管理システムで均一な清掃が可能

世界初の鍵管理システム(KIK)を採用。2種類の鍵で権限を分け管理者が清掃内容を設定し、作業者は設定の範囲内で清掃を行います。作業者を選ばずどなたでも均一な清掃結果が得られます。



■簡単操作で効率よく清掃

自走式のため、作業の際や移動時の負担を軽減します。また、作業者が操作するスイッチ類は色分けされており、操作ミスを防止します。

■経済性にすぐれた洗剤節約システム

洗剤を必要な量だけ直接ボトルから投入できるので、無駄がなく経済的です。また、タンクが汚れないので、後処理の手間がありません。

ケルヒャー ジャパン株式会社

札幌支店 TEL:011-865-1951

〒003-0027 北海道札幌市白石区本通19丁目北1番55

ホームページ <http://www.karcher.co.jp>

KÄRCHER®

makes a difference

リンレイ さらに進化したRook17シリーズ

Rook17快をさらに進化させた「Rook17快α(アルファ)」とベーシック&ハイスペック コンパクト機「Rook17 ZERO(ゼロ)」の2機種で皆様の声にお応えします。

インテリジェント サイレンス システム搭載。



ALPHA SOUND



ALPHA POSITION

Maintenance free BATTERY



ZERO POSITION

充実した基本性能と使いやすさを追求。

BASIC & HIGH SPEC COMPACT

 株式会社 **リンレイ** 業務製品事業本部

本社 〒104-0061 東京都中央区銀座 4-10-13 TEL.03(3541)4851(代)・東京 03(3543)2281・大阪 06(6394)4571・名古屋 052(581)8241
 札幌 011(521)5271・仙台 022(223)6868・広島 082(232)2333・高松 087(834)2738・福岡 092(883)7000
<http://www.rinrei.co.jp/>

美しく、爽な環境をつくる

清掃用品ならなんでも揃う

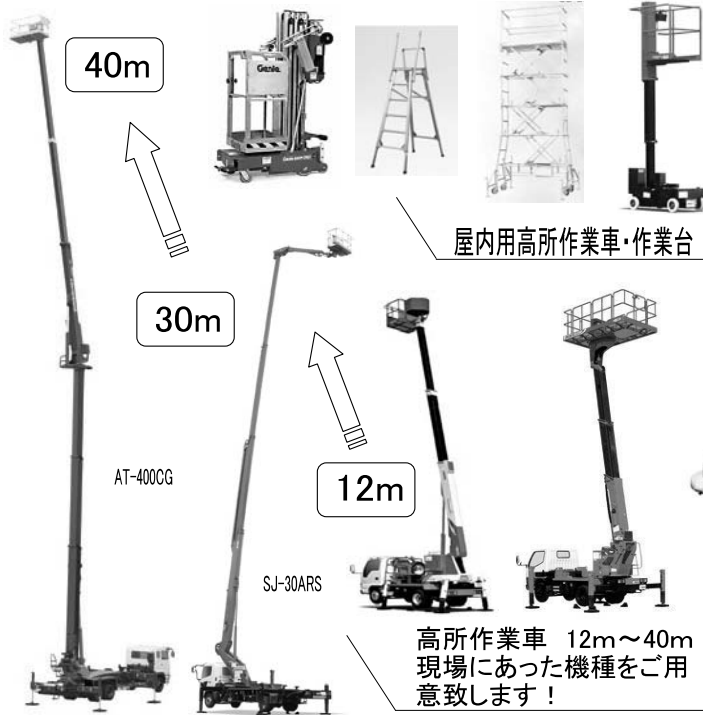
CLEAN & BEAUTY

HOKUSEI

北清産業株式会社

〒001-0903 札幌市北区新琴似3条2丁目
 TEL (011) 761-8151(代)
 FAX (011) 764-4693

豊富な品揃えで、現場をサポート！



レンタル品目

高所作業車・橋梁点検車・トラック各種・仮設機材・仮設ハウス・測量機器・照明器



冬季用品～除雪機・タイヤショベル～



美装用品～プロ用フロアメンテナンス機器～



エスケーリース株式会社
Lease&Rental

TEL:011-775-4141 FAX:011-775-4588

本社 札幌市北区百合が原6丁目1-20
西センター 札幌市西区発寒17条3丁目
白石センター 札幌市白石区米里3条2丁目7-2
HP:<http://www.sk-lease.co.jp> Email:head@sk-lease.co.jp

消費電力900W、抜群の省エネ設計！

Dry Vacuum Cleaners 小型ドライバキューム

Nilfisk VC300 ECO



URL <http://www.penguinwax.co.jp>
ペンギンワックス株式会社
本社・工場 大阪市東成区東中本3-10-14 (〒537-0021) TEL:06(6973)9131

東京支店 東京都中野区丸山1-27-6 (〒165-0021) TEL:03(3387)9381 FAX:03(3388)3350
名古屋支店 名古屋市瑞穂区苗代町26-16 (〒467-0841) TEL:052(824)1711 FAX:052(824)1714
大阪支店 大阪市東成区東中本3-10-14 (〒537-0021) TEL:06(6973)9131 FAX:06(6976)1456
福岡支店 福岡市博多区東比恵2-20-10 (〒812-0007) TEL:092(451)9411 FAX:092(441)0512
札幌営業所 札幌市東区北13条東14-2-1 (〒065-0013) TEL:011(742)3701 FAX:011(742)3713
仙台営業所 仙台市若林区白萩町37-25 (〒984-0048) TEL:022(239)5161 FAX:022(283)3390
北陸営業所 金沢市ニッ屋町11-17 (〒920-0065) TEL:076(224)4281 FAX:076(224)4285
広島営業所 広島市西区観音新町2-10-17 (〒733-0036) TEL:082(297)1481 FAX:082(297)1482
高松営業所 高松市鶴町903-1 (〒761-8032) TEL:087(881)5067 FAX:087(881)0716

輸入元 ニルフィスクアドバンス株式会社

今こそ、省電力。



パワフル 軽量
コンパクト 省エネ
コストパフォーマンス

ドライバキュームのNewスタンダード

ニルフィスクVC300 ECOは消費電力を900Wに抑えた省エネ設計！一度に多くのバキュームを使用される現場でも省電力に貢献します。また、徹底したコストパフォーマンスは従来品を圧倒しています。幅広い現場で、ストレスなくお使いいただけるドライバキュームのNEWスタンダードです。

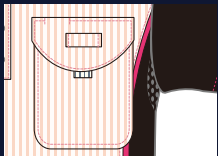
現場から生まれた クリーンクルー専用ウェア 新登場。

クリーンクルー専用の新しいシャツが登場しました!

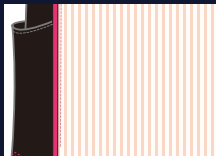


優れた機能で
いっばいの
シャツです!

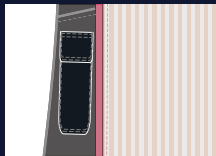
■ワークシーンをサポートする、優れた収納力



A4四つ折りサイズが
収納出来るポケット付き。



両サイドにポケット付き。
(レディスのみ)

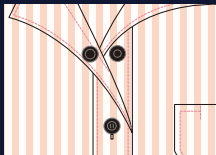


裏側にシークレットポケット付き。
(レディスのみ)

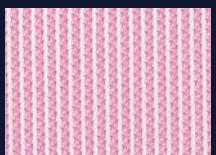
■機能的なデザイン



スリムに見えながら
ボディーラインの出ない
デザイン。



通常のボタンに見える
着脱が便利なスナップボタン。

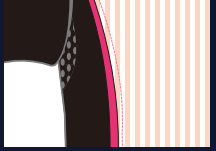


吸汗性速乾性に優れ
シワになりにくい
高性能素材を使用。

■暑さをおさえるこだわりの仕様



涼しい開襟仕様。



通気性の高い
メッシュ仕様(脇下)



通気性の高い
メッシュ仕様(衿まわり)



■クリーンクルーシャツ/男女兼用

単位/サイズ	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
着丈	70	72	74	76	78	80	82	84
胸囲	93	98	103	108	113	118	123	128
肩巾	35.5	37	38.5	40	42	44	46	48
袖丈	23.5	24.5	25.5	26.5	27.5	28.5	29.5	30.5

■レディスクリーンクルーシャツ

単位/サイズ	SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
着丈	59	62	70	72	74	76	78	80
胸囲	91	95	99	103	108	113	118	123
肩巾	34.5	36	37.5	39	41	43	45	47
袖丈	23	23	24	24	25	26	27	27

●豊富なカラーバリエーション

クルーグリーンシャツ/男女兼用



レディスクリーンクルーシャツ



イメーシワーク株式会社

〒060-0807

札幌市北区北7条西4丁目4番地3 札幌クレストビル8階

TEL:011-(717)-4411 FAX:011-(717)-4976

URL:<http://www.image-work.net/>



ほく しょう
北翔 (新年号)通巻103号 平成26年1月20日

発行所 一般社団法人 北海道ビルメンテナンス協会
〒060-0003 札幌市中央区北3条西17丁目2番3号
ビルメンテナンス会館
電話(011)615-1100・FAX(011)615-7055

発行 代表者 山田 春雄

編集者 広報委員会